

稲吟OB会会報

NO. 33



早稲田に生まれて 55 年 早稲田大学稲吟 OB 会

■目次■ 会長挨拶 …2 創立 55 周年記念大会実施要綱…3 活動報告…4
会員の皆様の寄稿…5 稲吟会（現役）情報…6-7 事務局から…8

稲吟会ホームページ <http://www.togin.org/>

稲吟 OB 会 <http://www.togin.org/alumni/> 稲吟会 <http://www.togin.org/toginkai/>

発行：2010（平成 22）年 9 月 10 日 発行者：早稲田大学稲吟 OB 会事務局

編集発行責任者：菅原 均（稲吟 OB 会事務局） 通巻第 33 号

いよいよ創立 55 周年！！

早稲田の杜で会いましょう！！

早稲田大学稲吟 OB 会 会長 大竹茂行

連日の猛暑の折、会員諸兄姉におかれましてはいかがお過ごしでしょうか？ 皆様が体調を崩されることのないよう心からお祈り申し上げます。さて、いよいよ今秋 10 月 30 日（土）には稲吟会創立 55 周年記念大会を迎えます。

次項の通り、創立 55 周年記念大会および祝賀会につきましては、会場、時間も決定し、関連行事の準備を進めているところです。この猛暑を乗り越え、秋には皆様が元気に早稲田の杜に集うことを願ってやみません。

現役諸君は春に新入会員 7 人（新入生 5 人、2 年 1 人、3 年 1 人）を迎え、総勢 15 人で記念大会に向けて練習に準備に追われています。8 月 28 日には現役・OB 合同の 55 周年大会前夜祭、8 月 31 日からは現役諸君の夏合宿が行われました。

OB 会としても現役諸君を全面的にバックアップして参りたいと存じます。今後とも OB 会員の皆様方のご理解、ご協力宜しくお願い致します。



記念祝賀会とほぼ同時刻の大隈講堂

創立 55 周年記念大会 実施要綱！！

奮ってのご参加お待ちしております。

下記の通り、創立 55 周年記念大会の日時・会場が決定致しました。
皆様お誘いあわせの上、ご参加戴けますようお願い申し上げます。

記念吟詠発表大会/記念祝賀会

共催： 早稲田大学稲吟会
早稲田大学稲吟 OB 会

大会委員長：
大竹茂行（早稲田大学稲吟 OB 会会長）
加賀美慧（早稲田大学稲吟会第 55 代執行部幹事長）

日時：2010（平成 22）年 10 月 30 日（土）

記念吟詠発表大会：

江戸川区 小松川区民館 2 階ホール 12：00～16：00
〒132-0035 江戸川区平井 4 丁目 1 番 1 号 TEL03-3683-5249

記念祝賀会：

大隈ガーデンハウス カフェテリア（大隈庭園内）
17：30～20：30

参加費：会員 10,000 円
同伴者 5,000 円

東京三菱UFJ 銀行市ヶ谷支店 普 1050657 「稲吟 OB 会」

※同封の振込用紙は年会費用です。大会参加費は ATM 等から卒年・お名前入力の上お振込みください※
（当日の参加費受付も致します）

出欠に関しましては、同封の郵便書簡にて 10 月 8 日まで投函して下さい
（当日の飛び込み参加も大歓迎です。その際印刷した名札が
ご用意出来ないこと、御了解下さい）



記念発表大会会場「小松川区民館」

JR 総武線「平井駅」南口 徒歩 10 分

J R 「東京駅」から 20 分

東京（山手線上野方面 3 分）

⇒秋葉原（総武線乗換え 5 分

千葉行 10 分）⇒平井

地下鉄「早稲田」まで 30 分

平井（総武線三鷹行 19 分）⇒飯田橋

（地下鉄東西線乗換え 7 分）⇒早稲田

意外に近いんですよ！！

活動報告 創立 55 周年記念大会 前夜祭

～現役・OB 交流会～

早稲田大学稲吟 OB 会 副会長 菅原 均

8 月 28 日（土）、高田馬場駅前 『中華料理 石庫門』にて創立 55 周年記念大会 前夜祭と銘打ち、現役・OB 会交流会が行われました。

OB 22 人、現役 5 人に参加戴き、記念大会に対する意気込み、稲吟会への熱い想いを語る宴となりました。

ご参加戴けなかった皆様からも、多くのメッセージを戴き、有難う御座います。10 月 30 日の記念大会で皆様にお会い出来ること、楽しみにしております。



会員の方々から

こたつを囲んでの執行部会議を想って

平成2年卒 澤井 一樹

今から振り返るといわゆる稲吟会の衰退期といわれる昭和の終わりに、私は新2年の副幹事長として春合宿で西伊豆の相模屋という民宿の2階で、執行部会議でこたつを囲んでいた。史上稀にみる機動力にあふれた（ポジティブに捉えよう）執行部会議。春合宿でのテーマは、吟力の向上は言うまでもなく、まさに稲吟会の存亡をかけた、来るべき新入生勧誘をどうやっていくのかということであった。当時の山田幹事長を先頭に、「哲学なくして戦略なし」ということなのか、稲吟会とは何ぞや、また、なぜいま自分は稲吟会にいるのかといった個人の存在意義などから深掘りし、毎晩遅くまで議論した。

OB会の全面バックアップのもと作ったチラシはとりあえず1万枚。決まったコピーは「あまりふつうはつまらない」。奥深い。僕は今でも思う。「あまりふつうはつまらない」特に早稲田にいれば。

僕はまた思う。早稲田の一番いいところは、全国から毎年1万人もの若者が集うところ。だから、じっとしていれば、埋もれてしまうという危機感。じっとしていれば、誰も振り返りもしてくれない、誰も与えてくれないという危機感。それがあから、渴いていられる。それがあから、何かに夢中になれる。貪欲でいられる。社会に出ればもっとその危機感は強まるけど、モラトリアムの世代には少し緩めがちょうどいい。

稲吟会は確実に居場所にはなり得るが、公園のベンチと違い、座っているだけで何かが得られるほど、甘いものではない。稲吟会のアイデンティティーは間違いなく、詩吟であるがそればかりでない気がする。僕は、「各自が日ごろ色々な経験をする中で、感じたこと、得たこと、悩んでいること、等々を持ち寄り、共有し、批判しあい、ぶつかり合うこと」であるのではと、勝手に思い込んでいる。なぜ、酒をよく飲みに行ったのか。「酒は話の潤滑剤」。なぜ単なる連絡ノートではないみんなが愛する「砂粒」が部室で待っていてくれたのか。「直接会えなくても、色々共有しようぜ」。なぜ稲吟会があるの。「渴いた若者がそこにいるから」。

青春の一時期と相模屋のこたつと、美しく静かに僕らを見守ってくれた梅の花を思い出しながら、とりとめのないことを考えた。



P. S.

とにかく暑いですが、皆様お元気でしょうか。ご無沙汰しています。

撮影) 菅原
平成3年8月4日
神戸への夜通しドライブの後で

稲吟会 55 周年に寄せて

平成 19 年卒 浅田 俊祐

稲吟会が今年で 55 周年を迎えるとのことで、前の大会からもう 5 年も経ったのかと感慨深く思います。私は卒業後に東京から離れましたので会の近況については疎いのですが、ここ数年会員数が減ってきている中での 55 周年大会開催とのことで、現役生の努力を窺い知ることができます。

50 周年大会の年を思い返してみますと、定常の活動や大会の準備を慌しく処理する一方で、例年以上に皆で飲みに行ったり、また OB の方に連れて行って頂いたり、割と呑気に過ごしていた記憶があります。最近の活動についてちょっと耳にした話では、最近は皆で飲みに行く機会も少ないとのこと。5 年も経てば変化があるのは当然ですが、飲み会に釣られて入会した私のような人間からすると少し寂しい気もします。

私が 50 周年の年に幹事長をしていた時には、周りからは‘幹事長ということで大変だろう’ということをよく言われました。確かに煩わしいことも多かったのですが、周りの方々の協力もあり、むしろ楽しい 1 年間を過ごしたなと思います。今回偶然にも 55 周年という節目の年に当たった現役生にとっては大変なこともあるかと思いますが、今回やり遂げることは後々決して無駄にはならないはずです。ぜひ 55 周年を楽しんでやり遂げてもらいたいと思います。



稲吟会情報

稲吟会、盛り上がってます！

第 55 代執行部幹事長 加賀美慧

新歓期をへて、稲吟会には 5 人の 1 年生、2 年生と 3 年生がひとりずつ入会することとなりました。新入生はそのほとんどが新歓期の勧誘による入会です。「詩吟」を最初から知っている新入生は少なく、スポーツのサークル等と比べて勧誘の仕方が難しいといえます。勧誘は古典芸能色を主張しすぎずカジュアルな雰囲気を出し、しかし一方で活動内容は確たるものがある、といった印象を持ってもらえるように行いました。そして新歓期から 1 週間ほどたち新入生と十分なかよくなった頃、ついに詩吟や剣詩舞の演目を披露します。毎年のことなのですが上級生は、初めて見る吟、舞に新入生がどんな反応を示すのか、気が気でなりません。今年は喜ばしいことに評判は悪くありません。



新しいメンバーを迎え入れ、昼練、舞練、学館練、(飲み会) といった稲吟会の日常が展開

されていくこととなりました。部室も大変に賑やかになり、試験期間中は楽しみすぎに注意です。さて練習に関しては 1 年生はとても熱心なのです。昼練の時間ではないのに吟練が行われることがあるほどです。みないい特徴を持っていて、将来はどんな個性的な吟のスタイルを身につけるのか今から楽しみになってしまいます。やがて早明交歓会をへ、百キロハイク、早慶戦といったイベントを迎えます。1 年生は深く早稲田を実感したことでしょう。特に百キロハイクでは参加した新生 5 人全員が完歩という素晴らしい早稲田精神を見せてくれました。

前期における対外的な活動としては、介護老人保健施設「しらさぎ」での小発表会、50 周年記念詩作者の石川忠久先生による 21 世紀詩歌朗詠懇談会のほか、外国人向けの日本文化紹介イベントに参加するなどしました。こうした発信の場は練習の成果を示せるだけでなく、私達ひとりひとりが古典芸能の伝承に携わっていることを実感させてくれ、深い感銘を与えてくれます。私は会員がそのような喜びと誇りをもてるよう指導して参りたいと思っております。

稲吟会は現在、その会員数こそ多くはないものの、みな芸に取り組む姿勢は真剣であります。1 年生を迎え新しく揃ったこのメンバーで、55 周年記念発表大会に臨みます。発表会には是非足を運んでいただき、われわれ現役に声援をください。よろしくおねがいします！

商学部 1 年 木嶋孝幸



「君、詩吟って知ってる？」

新歓期間初日、早稲田キャンパスでサークルのブースを見て回っていると、幹事長に声を掛けられた。それなりに正しく答えると、

「まともな答えをしてくれたのは、君が始めてだ。」とおっしゃっていた。どうやらお笑い芸人のネタかなにかと間違える人が多かったらしい。気をよくした私はその勢いで連絡先を伝え、新歓コンパに出席する旨を伝えた。これが私の稲吟会に入会した顛末である。

私は兼ねてから漢詩や漢文に興味を抱いていた。中学・高校時代に古典の授業で「春暁」、「春望」、「山中間答」などに触れ、漢詩漢文ならではの余韻の美しさや格式高い文体に魅了されていた。そんな中、高校の現代文で中島敦の「山月記」に触れた。私はこの作品に感動し、初めて詩吟というものを知った。大学では漢詩漢文のサークルに入ろうと決意した。そして上述の幹事長の勧誘を受けたのであった。

練習に参加するようになり、先輩方や大川先生の指導のおかげで、大分息が続くようになった。剣舞はまだ剣の扱いには慣れていないが、少しは様になってきたかなと思っている。吟詠や剣舞を通じて、詩吟の楽しさ、奥深さを少しだけ味わえるようになってきたと思う。

先輩方は詩吟の指導だけではなく、GW 合宿や日々の大学生活を通じて、まだまだ未熟な私たちの面倒を、大学の先輩として、時には人生の先輩としても見てくださる。先輩方と同じように未来の後輩たちの面倒を見られるか、今から不安を感じるほどだ。同輩たちの稲吟会に入った理由は人それぞれであり、中には詩吟がさほど好きでないものもいるようだが、共に活動していて楽しい限りである。



頼れる先輩方、一緒にいて楽しい同輩、そして親切な大川先生や OB・OG の方々に囲まれて、好きな漢詩漢文に触れることができ、私はとてもうれしく思っている。稲吟会の一員としてこれからも楽しく精進していきたい。

◆◆事務局から◆◆

本年末「会員名簿」の更新版をお送りする予定で準備を進めています。
住所変更等ありましたら、同封の郵便書簡にてご連絡くださいませ。

OB 会員名簿正誤 名簿（2007 年度版）について、以下の 7 件の修正があります。

◆◆年会費（5,000 円）の振込みお願い致します！◆◆

※卒後 3 年までは 4000 円です。※

振込先 ゆうちょ銀行 口座名 早稲田大学稲吟OB会 振替 00150-7-61740
振込用紙を同封します
《他の金融機関からの振込の場合…》
ゆうちょ銀行(金融機関コード 9900) 店番 019
店名 〇一九(ゼロイチキョウ)店 預金種別 当座、
口座番号 0061740 受取人名 ワセダダイガクトウギン OB カイ

都市銀行からのモバイルバンキングでの振込みも可能となりました（3分で振り込み可能！！）。

※創立 55 周年記念大会参加費は振込先が違います※

東京三菱UFJ銀行市ヶ谷支店 普 1050657「稲吟OB会」
参加費：会員 10,000 円
同伴者 5,000 円

※こちらの振込用紙はご用意致しません。
ATM 等から **卒年・お名前**を入力の上お振込みください※

※ご本人の納入状況は事務局会計幹事の板倉真介（平 10）に電子メール（kaikai@togin.org）もしくは往復はがきでお問合せください。往復はがきの場合は、ご自身の氏名、住所、卒業年度を返信面に記入の上、板倉までお送りください。電話でのお問い合わせはご遠慮ください。※

☆☆担当より☆☆ 今回も H4 卒菅原です。昨年の会報の秋号で現役の多くの退会の記事を書かせて戴きました。直後より多くの方々から心配のお電話戴きました。その中のお一人澤井さんから現役へのエールを！と寄稿を快諾戴きました。有難う御座います。浅田君が 5 年前。我々 H4 卒は第 35 代で 20 年前。あ、20 周年飲み会をせねば。 そうそう、今回カラーにしてみました。如何でしたか。